

「ふくしまあこがれの連鎖・関係人口創出オンライン交流モデル

調査事業～おうちでふくしま移食住～業務委託」

に関する質問への回答

県中地方振興局企画商工部

令和3年6月14日

番号	質問	回答
1	<p>仕様書4(2)の管内12市町村・キーパーソン共同によるオンラインプロモーション環境の構築について、各市町村からの情報発信が行えるプラットフォームを構築、運用することを定めておりますが、実現方式としてWordPressの構築やフェースブックページの設置は必須でしょうか。各市町村に更新用IDを発行して情報発信を行うことができるインターネット上の他のプラットフォームをご用意する、という方法でもご提案可能でしょうか。</p>	<p>仕様書で想定している内容よりも良いと思われるものであれば、仕様書以外のご提案内容であっても構いません。</p> <p>また、仕様書と異なるご提案内容については、プロポーザル後の委託予定者との協議において調整させていただく場合がございます。</p>
2	<p>仕様書4(1)のオンライン交流会における地域のキーパーソンや、4(2)のオンラインプロモーション環境のホームページ上でご紹介する「あこがれの対象となる人物の紹介」の対象となる方をリクルーティングすることも提案事業者側の要件となりますでしょうか。あるいは、福島県や地域おこし協力隊にてある程度候補者想定されていらっしゃるのでしょうか。</p>	<p>県中地方振興局においても、昨年度から実施しているふくしまチャレンジライフ推進事業での地域ディレクターや、地域おこし協力隊等、ある程度の候補者は考えているところです。</p> <p>しかし、今回の食をフックとしたオンライン交流事業は初の試みですので、候補者の方々との相談・交渉をお願いするとともに、新たな事業に適した地域のキーパーソンやあこがれの対象となる人物を、委託事業者に発掘していただきたいと考えています。</p>

3	<p>仕様書4(1)クのオンライン講習会について、オンライン交流会の仕掛人(関係者)とは、仕様書4(1)エの市町村役場職員、地域おこし協力隊、ふくしまチャレンジライフ推進事業の地域ディレクター、仕事体験指導者の地域キーパーソンのことでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおりです。 今回は、委託事業者が仕掛け人側のトータルコーディネーターとなります。</p>
4	<p>仕様書4(1)クのオンライン講習会について、オンライン交流会の仕掛人(関係者)向けの講習会とは、具体的に何を講習するものを想定されておりますでしょうか。</p> <p>また、オンライン講習会の実施のタイミングは、各市町村のオンライン交流会の実施前でしょうか。それとも、すべて完了した後の結果を共有する形で最後に実施するものでしょうか。</p>	<p>実施のタイミングにつきましては、実施前に1回の実施を考えています。(可能でしたら、実施後にも1回の実施を考えています。)</p> <p>内容につきましては、実施前では、実施に向けた準備や実施方法についての講習、実施後では、次年度に向けての講習を想定しています。</p>